

第2次伊賀市行財政改革大綱 前期実施計画 平成23年度実績一覧表

上段：目標、下段：実績

前期P	重点事項番号	項目番号	取組番号	実施項目名〈各課による取組〉	担当課	H23：年次計画	H23：年次取組実績	進捗状況	数値目標実績	財政効果額(千円)	計画どおりできていない理由	H24年度の改善事項	総務課の意見
1	1	1	1	行政財産の統廃合等に関する指針の作成	管財課	①「施設カルテ」作成に向けた調査・データ整理 ②「市有施設のあり方に関する指針」(素案)作成	①公有財産台帳管理システムを構築し、施設カルテのベース資料を整備した。 ②公共施設の概要(全体)を分析した公共施設マネジメントの基本方針(素案)を作成した。	計画どおりできている	データ収集などを行う施設数 630	-			
									562	-			
2	1	1	1	保育所(園)の再編整備の促進	こども家庭課	①地域・保護者への説明により、計画的に進めていく。 ②庁内検討会議の開催	①大山田東保育園が25年度から大山田西保育園に統合されることで了解を得た。児童数からみて、諏訪保育所、まるばしら保育所の統・廃園について地元、保護者と協議を開始した。 ②開催しなかった。	計画どおりできている	説明会開催数 10	-			
									18	-			
3	1	1	1	校区再編(小・中学校の統廃合)	教育総務課	①上野南中学校建設工事説明会の開催 ②上野西部小学校区実施計画検討協議会の開催 ③上野北部小学校区再編計画検討協議会の開催 ④阿山地区小学校区再編計画検討協議会の開催	①上野南中学校建設工事等説明会(35回) ②上野西部小学校区検討協議会等会議(4回) ③上野北部小学校区検討協議会等会議(2回) ④阿山地区小学校区再編検討協議会等会議(10回)	計画どおりできている	事業進捗率 0	-			
									33.3	2,000			
4	1	1	1	体育施設の統廃合	スポーツ振興課	①ランキングによる施設調査(利用度、整備度、老朽度)を基に廃止施設を決定する。 ②地域と調整を行う。	①廃止施設を決定した。 ②博愛グラウンド草刈管理委託料は地域との協議により廃止し、経費の削減となった。 施設の統廃合については、地域と調整を行ったが進展は得られなかった。	計画どおりできていない	事業進捗率 70	-	合併時の約束により、合併後10年間は、市施設の統廃合は認められないと、自治協会長から申し出があった。	地域との協議を継続し、10年経過後速やかに手続きが出来るようにする。	引き続き地域と協議されたい。
									50	80			
5	1	1	1	使用料・手数料の見直し	財政課	①管財課と共同で、各施設の使用料が適切かどうかの検証を行いたい。 ②管財課が進めている施設の統廃合計画とのバランスも取りたい。 ③手数料については、政令等で定められている上限額になっているため、政令等の改正がなされた場合は、速やかに行う。	①目的外使用条例の施行に伴い、各施設の目的外使用料の見直しを行った。24年度からハイトピア伊賀の公共公益施設の開設に伴い、公民館等の使用料の見直しを行った。 ②施設統廃合のための資料として、今年度は財産台帳の作成を行っている。 ③3月議会に政令の改正に伴う手数料条例の一部改正議案を上程し可決された。	計画どおりできている	-	-			
									-	-			

第2次伊賀市行財政改革大綱 前期実施計画 平成23年度実績一覧表

上段：目標、下段：実績

前期P	重点事項番号	項目番号	取組番号	実施項目名〈各課による取組〉	担当課	H23：年次計画	H23：年次取組実績	進捗状況	数値目標実績	財政効果額(千円)	計画どおりできていない理由	H24年度の改善事項	総務課の意見	
6	1	1	1	市有施設の有効活用のための基本方針の作成	管財課	①「施設カルテ」作成に向けた調査・データ整理 ②「市有施設のあり方に関する指針」の検討と合わせて検討	①公有財産台帳管理システムを構築し、施設カルテのベース資料を整備した。 ②公共施設の概要(全体)を分析した公共施設マネジメントの基本方針(素案)を作成し削減目標を仮設定した。	計画どおりできている	データ収集などを行う施設数 630 562	- -				
7	1	1	1	文化ホールのある方見直し実施に向けた関係部署との協議及び市民理解に向けた醸成	企画課	①3施設(ふるさと会館いが、あやま文化センター、青山ホール)の見直し方針に基づき、関係部署との協議により、適切な施設機能、料金体系、管理形態等の検討を行う。 ②文化会館を含めた4施設の具体的見直し案について、市民及び関係団体に理解を得る。	①生涯学習施設への移行を目指す見直し方針に基づき、所管となる教育委員会担当課と協議した。教育委員会において、生涯学習施設に移行した場合の施設機能等について検討することとなったが、具体的検討を終わらせるには至らなかった。 ②施設機能等の具体案が示せていないため未実施	計画どおりできていない	関係部署との協議回数 4 説明地域数 3 関係部署との協議回数 3 説明地域数 0	- -	市の方針は決まっているが、市民の利便がどうなるのかを整理できていないので、説明に踏み切れない。	市民利便などを整理し、地域・関係団体への説明を行う。	市民利便を整理し、説明を実施されたい。	
8	1	1	1	新規建設施設検討委員会の設置	管財課	①新規建設施設検討委員会のあり方の検討	①市全体として、委員会組織を減少させ事務の効率化を図るため、新たに検討委員会を設置せずに、政策調整会議で検討することとした。	計画どおりできている	- -	- -			平成23年度で完了	
9	1	1	2	介護予防施設の統廃合	介護高齢福祉課	①【伊賀・阿山】4ヶ所 各施設ごとに地域と協議のうえ整理・統廃合について検討し、方針が決定した施設から随時、整理・統廃合を実施する。 ※介護予防施設として継続させながら地域へ移管するなど ②【青山】5ヶ所 各施設ごとに地域と協議のうえ整理・統廃合について検討し、方針が決定した施設から随時、整理・統廃合を実施する。 ※市民センターへの転用も含めた地域への移管など	①平成25年度を目途に普通財産に変更した後、建物は無償譲渡、土地は無償貸付若しくは、建物も土地も無償譲渡いつれかの方針で地域と協議を進めていくことを決定した。 ②高尾は、平成24年度から、一部を市民センター活用することとなった。 博要は、平成24年度中に改修し、一部を市民センター活用することとなった。 他所についても、概ね将来的に市民センターへ移管する方針が決定した。	計画どおりできている	事業進捗率 30 12	- -				
10	1	1	2	住生活基本計画(長寿化計画)の策定	建築住宅課	①基本計画等の策定 ②民間住宅の状況把握 ③改修・修繕工事の計画策定	①当市における住宅施策の課題等を整理し、5つを柱とした基本施策の設定は行っている。 ②統計資料等を活用し、状況把握に努めている。 ③未策定である。	計画どおりできていない	事業進捗率 100 0	- -	策定委員の選定(確定)が出来ていない状況で、策定委員会用の資料等は整っているが、委員会を開催していないので、計画の検討が全くされていない。	策定委員会を開催し、平成24年度中に作成する。	平成24年度中に策定されたい。	

第2次伊賀市行財政改革大綱 前期実施計画 平成23年度実績一覧表

上段：目標、下段：実績

前期P	重点事項番号	項目番号	取組番号	実施項目名〈各課による取組〉	担当課	H23：年次計画	H23：年次取組実績	進捗状況	数値目標実績	財政効果額(千円)	計画どおりできていない理由	H24年度の改善事項	総務課の意見
11	1	1	3	施設カルテの作成	管財課	①施設カルテのデータ収集・整理 ②公有財産管理システム(土地台帳・建物台帳等の検索・更新機能をもったシステム)の構築	①財産の精緻化を実施した。 ②公有財産管理システムを構築した。	計画どおりできている	データ収集などを行う施設数 630施設 1,500棟	-			
									562施設 2,455棟	-			
12	1	1	3	施設管理コストの公表	管財課	①施設カルテのデータ収集・整理 ②公有財産管理システム(土地台帳・建物台帳等の検索・更新機能を持ったシステム)の構築	①財産の精緻化を実施した。 ②公有財産管理システムを構築した。	計画どおりできている	データ収集などを行う施設数 1,500棟	-			
									2,455棟	-			
13	1	2	1	財政見通しのローリング	財政課	①国の次年度の予算が明確になる12月下旬から、市の当初予算審議が始まる3月中旬までの間に作成する。	①平成24年～29年度の財政見直しを作成した。しかし、国の「税と社会保障の一体改革」による消費税増税が決定されていないため、公表は時期を見て行うこととした。	計画どおりできている	ローリング回数 1	-			
									1	-			
14	1	2	1	次代を見通した財政運営	水道総務課	①向こう5年間の財政見直しを策定し、新年度予算に反映する。	①ダム完成予定年度の平成27年度までの財政予測を行い、平成24年度予算に反映した。	計画どおりできている	財政見直し策定回数 1	-			
									1	-			
15	1	2	1	総合計画実施計画のローリング	企画課	①実施計画の策定(平成24年度～平成26年度) ②関係課合同による事務事業ヒアリングを行う。 ③ヒアリング後、当初予算案作成に反映させるため、内示を行う。	①実施計画を策定し、8月16日に全所属へ通知した。 ②企画課、総務課、財政課合同の事務事業評価シートによるヒアリングを実施(6月7日～7月13日)した。 ③部長査定、市長査定を経て、10月5日に総合計画後期第1次実施計画掲載事業の内示を実施した。	計画どおりできている	事業進捗率 100	-			
									100	-			

第2次伊賀市行政改革大綱 前期実施計画 平成23年度実績一覧表

上段：目標、下段：実績

前期P	重点事項番号	項目番号	取組番号	実施項目名〈各課による取組〉	担当課	H23：年次計画	H23：年次取組実績	進捗状況	数値目標実績	財政効果額(千円)	計画どおりできていない理由	H24年度の改善事項	総務課の意見
16	1	2	1	総合計画に基づく各種計画の進行管理	企画課	①訓令の制定 ②訓令で規定した各種計画の進捗状況の報告 ③各種計画の進行管理による総合計画数値目標等との整合確認	①対象となる計画を見直し、訓令（平成23年伊賀市訓令第20号）を制定した。 ②9月及び3月に対象となる計画の進捗状況について、関係課から報告を受けた。 ③関係課による本年度の取り組み予定と、9月、3月それぞれの取り組み実績を確認した。	計画どおりできている	市民満足度 40	-			
									33	-			
17	1	2	2	定期的な補助金の見直し	総務課	①各担当課が補助金等チェックシートを作成し、見直し手順により部内調整を実施後、全体を取りまとめる。 ②平成24年度当初予算に反映させる。	①担当課作成済みのチェックシートから、見直し手順により部内（財政・総務）調整を実施した。（平成23年6～8月）10月開催の政策調整会議及び11月開催の行革委員会において見直しの方向性を決定した。 ②平成23年度で「廃止」と方向付けられた補助金について、平成24年度当初予算に反映できた。	計画どおりできている	-	-			
									-	-			
18	1	2	2	繰出基準外経費の削減	財政課	①繰出基準外経費の削減について、担当課と協議を行う。	①予算ヒアリング時に、特別会計及び企業会計の担当部署と繰出金について協議を行った。	計画どおりできていない	繰出基準外経費削減額(千円) △609,681	-	病院事業会計が医師不足のため診療収入が減り、経営状況が悪化している。その状況を解消するため繰出基準外の財政健全化補助金の支出が必要となっている。	病院事業会計の経営状況を注視しつつ、他会計繰出基準外支出を抑制する。	病院会計への繰出しに配慮しつつ、全会計繰出し合計額は前年度を下回るよう配慮されたい。
									△1,310,339	-			
19	1	2	2	予算編成システムの再構築	財政課	①新しい予算要求システムの構築 ②プライマリーバランスの黒字化	①震災の影響で国の補助金等が見込めないため、事業費の限度額を抑制せず、従来の方法で予算編成を行った。 ②補正予算毎に、プライマリーバランスがとれているかどうか、積算した。	計画どおりできている	プライマリーバランス(千円) 968,000	968,000			
									255,000	255,000			
20	1	2	2	市税収納率の向上	収税課	①納税意識の高揚を図るため広報「いが市」や行政チャンネルなどを通じ啓蒙、啓発に努める。 ②公平、厳正な滞納整理及び滞納処分のため積極的な差押を行う。 ③差押物件のネット公売の積極的な実施を図る。	①納税意識の高揚を図るため広報「いが市」5月号への納税啓発掲載や同時期の行政チャンネルへの出演による啓発等に努めた。 ②公平、厳正な滞納整理及び滞納処分のため積極的な差押（H24.03.16現在）差押件数1,277件、徴収金額151,662千円に努めた。 ③差押物件のネット公売を7月、9月、2月の3回実施し1,305,635円を換価した。	計画どおりできている	徴収率(現年分) 97.57	28,800			
									徴収率(滞納分) 19.42				
									徴収率(現年分) 98.22	0			
									徴収率(滞納分) 17.48				

第2次伊賀市行財政改革大綱 前期実施計画 平成23年度実績一覧表

上段：目標、下段：実績

前期P	重点事項番号	項目番号	取組番号	実施項目名〈各課による取組〉	担当課	H23：年次計画	H23：年次取組実績	進捗状況	数値目標実績	財政効果額(千円)	計画どおりできていない理由	H24年度の改善事項	総務課の意見
21	1	2	2	貸付金償還金の償還率の向上	同和課	①督促等の発送を行う。 ②回収不能債権の洗い出しを行い、合わせて、専決処分の適用範囲の検討を行う。	①通知発送件数822件（内住新382件（名義人276件/保証人106件）内福祉440件（名義人272件/保証人168件） 【実績】：相談対応件数141件（相談64件/返済開始37件/一括返済相談8件/繰上・滞納額一括返済17件時効の中断5件/相続放棄7件/時効援用3件） ②回収不能債権（住新5件/福祉2件）法的な措置も合わせて催告を行う計画件数（住新8件）	計画どおりできている	徴収率(住宅・滞納分) 6	51,264			
									徴収率(福祉・滞納分) 3.4				
									徴収率(住宅・滞納分) 6.22	72,502			
									徴収率(福祉・滞納分) 2.74				
22	1	2	2	介護保険料の収納率の向上	介護高齢福祉課	①普通徴収者に対し、口座振替での納付を積極的に促す。 ②滞納者に対しては、滞納原因の分析により滞納者の現況を把握する。 ③年2回（6月と12月）の催告書の発送後、分析結果を基に臨戸徴収を実施する。 ④必要に応じ随時電話で催告を行う。 ⑤来庁や電話での納付相談は通年実施する。	①特徴停止により普通徴収者が増える中、普通徴収者への口座振替での納付を積極的に促した。 ②滞納者に対しては、滞納者分析一覧表を作成し、滞納原因の分析により滞納者の現況を把握した。 ③年2回（6月と12月）の催告書発送後、分析結果を基に臨戸徴収を実施した。 ④必要に応じ随時電話で催告を行った。 ⑤来庁や電話での納付相談を通年実施した。	計画どおりできている	徴収率(現年分) 86.0	-			
									徴収率(過年分) 18.0				
									徴収率(現年分) 85.0	-			
									徴収率(過年分) 16.4				
23	1	2	2	国民健康保険料の収納率の向上	保険年金課	①4月、8月広報に納期内納付啓発・ケーブルテレビでの放映 ②窓口等での口座振替推進 ③5月、11月夜間電話催促実施 ④9月、3月夜間休日の納付相談窓口開設 ⑤毎月5日間短期証対象者への納付相談など、毎年度継続的に実施する。	①8月1日号広報で納期内納付啓発 ②窓口で口座振替推進(特別徴収対象者を除く口振 50.9%) ③5月23～27日・11月21～27日電話催告 ④9月1・8・15日及び3月8・15・22日夜間納付相談窓口開設 ⑤毎月5日間短期証対象者への納付相談実施	計画どおりできている	徴収率(現年分) 91.81	8,855			
									徴収率(過年分) 25.45				
									徴収率(現年分) 93.30	20,700			
									徴収率(過年分) 22.26				
24	1	2	2	保育料の収納率の向上	こども家庭課	①年間を通じての訪問計画をたて、夜間・昼間の戸別訪問徴収を行う。 ②未納通知の送付 ③納付相談の実施	①毎月ごとに滞納者に対して夜間戸別訪問を行った。 ②毎月督促状を送付しており、電話催告も随時行った。 ③定例の納付相談として年間2回ほか個別で納付相談も行った。	計画どおりできている	徴収率(現年分) 99.04	135			
									徴収率(過年分) 20.04				
									徴収率(現年分) 99.28	1,760			
									徴収率(過年分) 14.16				
25	1	2	2	市営住宅家賃収納率の向上	建築住宅課	①督促、催告の徹底実施 ②口座振替制度利用促進 ③早期臨戸訪問 ④住宅使用料の支払請求（提訴） ⑤市営住宅明渡請求の実施（提訴）	①督促状12回送付 内3回は兼催告書(8月・11月・2月) ②全体:659人(45.04%) 新規入居12人の内8人申込 ③訪問実績：延べ 196日、訪問件数1,297件 徴収件数875件、徴収金額11,334,582円 ④実績なし ⑤実績なし	計画どおりできている	徴収率(現年分) 87.0	1,740			
									徴収率(過年分) 6.5				
									徴収率(現年分) 86.6	△ 4,992			
									徴収率(過年分) 6.4				

第2次伊賀市行財政改革大綱 前期実施計画 平成23年度実績一覧表

上段：目標、下段：実績

前期P	重点事項番号	項目番号	取組番号	実施項目名〈各課による取組〉	担当課	H23：年次計画	H23：年次取組実績	進捗状況	数値目標実績	財政効果額(千円)	計画どおりできていない理由	H24年度の改善事項	総務課の意見
26	1	2	2	病院の診療費未収金対策	医療業務課	①未収金対策委員会を年2回開催する。(9月・3月) ②入院時において高額医療費制度の啓発を行い、支払い相談時に手続き方法等説明する。 ③未収金支払催促の通知を行い徴収の強化を図る。 ④訪問徴収の集中月間を年2回実施するとともに、可能な限り随時訪問回収を行う。 ⑤裁判所による支払督促制度に適合する未収金について、その制度により回収を行う。	①未収金対策委員会は廃止となったが、所属で対策を検討した。 ②医療相談室において、限度額適用認定証の利用の紹介等を行い、医療費の支払い困難者をサポートすることにより、自己負担額の軽減が図れ、未収金の発生を未然に防ぐよう努めた。 ③定期的に未収金支払催促の通知を行い、徴収の強化を図った。 ④訪問徴収の集中月間を年2回実施し、随時訪問回収を行った。 ⑤裁判所による支払督促制度による回収は行わなかったが、保険会社払いの未収金について積極的な回収に努め、成果を得た。	計画どおりできている	収納額(千円)	2,500	2,500		
										5,836			
27	1	2	2	総人件費の抑制	人事課	①前年比5%縮減の目標設定通知を出す。 ②恒常的な長時間勤務職員のいる所属長に対してヒアリング、指導を行う。 ③定員適正化計画により、職員数を18人減らす。	①前年比5%縮減にまで言及できなかったものの、4月18日と11月4日に時間外勤務を縮減できるよう目標設定の通知を出し、結果として時間数では前年比の93.8%にまで縮減できた。 ②4月～7月までの時間外実績により、8月23日～26日にかけて、5所属の所属長を対象にヒアリング指導を実施した。 ③定員適正化計画に基づく、職員採用の抑制等により、結果として18人の削減を行った。(見直し後の計画削減数20名)	計画どおりできている	前年比時間外勤務時間数	95	178,895		
										94	199,274		
28	1	2	2	資産の多様な活用手法の検討	管財課	①公有財産管理システムの構築による遊休資産、売却・貸付可能資産の整理 ②民間事業者との連携による売却、貸付等さまざまな方策の検討	①公有財産管理システムを構築及び未利用地カルテを作成した。 ②インターネット売却のための規則等の整理を実施した。また、自販機設置事業者の一般公募入札を実施した。	計画どおりできている	土地台帳整理件数	40,000件	-		
									建物台帳整理件数	1,500件			
29	1	2	3	プライマリーバランスの黒字化	財政課	①決算をした段階で、黒字化とする。	①黒字になるよう事業費を抑えて起債を制限した。数値目標は9月でないとは積算できない。	計画どおりできている	実質公債費比率	14.4	-		
									将来負担比率	105.9			
30	1	2	3	有利な起債メニューの選択	財政課	①有利な起債(臨時財政対策債、合併特別債、へん地債など、交付税算入率の大きいもの)の借入額を80%以上とする。	①有利な起債(臨時財政対策債、合併特別債、へん地債など、交付税算入率の大きいもの)を借り入れた。	計画どおりできている	有利な起債が全体に占める割合	94	1,646,278		
										87	4,351,200		

第2次伊賀市行財政改革大綱 前期実施計画 平成23年度実績一覧表

上段：目標、下段：実績

前期P	重点事項番号	項目番号	取組番号	実施項目名〈各課による取組〉	担当課	H23：年次計画	H23：年次取組実績	進捗状況	数値目標実績	財政効果額(千円)	計画どおりできていない理由	H24年度の改善事項	総務課の意見
31	1	2	4	財政状況の公表	財政課	①財政状況(5月、11月)決算状況(10月)については、決められた時期に適切に行うこと。 ②大規模プロジェクトの進捗状況に合わせて、財政出前講座、職員への財政状況説明会を適切に行うこと。	①5月、11月の広報及び行政チャンネルで公表した。 ②10月に出席講座の要請があったが、要請者の都合が悪くなり実施しなかった。今年度は、地区懇談会(35箇所)で財政状況について説明した。	計画どおりできている	財政出前講座回数 7	-			
									39	-			
32	1	2	5	外郭団体の定期的な点検	総務課	①当該団体の所管課に対してヒアリングを実施する。 ②「外郭団体の改革及び運営に関する指針」に基づく調査票の作成を団体所管課へ依頼	①1月25日に農林振興課と伊賀支所振興課が所管する4団体のヒアリングを実施した。 ②[外郭団体の改革及び運営に関する指針]に規定する7団体から調査票の提出を受けている。	計画どおりできている	調査票の作成回数 1	-			
									1	-			
33	1	2	5	定期的な経営状況の点検評価	市民病院庶務課	①市内の開業医との重複を避けるために外来診療科目を見直す。 ②委託料の洗い出しを行う。 ③医師・看護師確保に努める。	①4月に乳腺外科を新設 ②経営コンサルタントを導入 現状に即した適正な委託料等金額を協議 院内組織体制の見直しの実施 ③常勤医師3名増(麻酔科2名、内科1名) 常勤医師1名減(内科) 外来診療等非常勤医師増(循環器内科、消化器内科、一般内科等) 救急当直非常勤医師増	計画どおりできている	純損益(千円) △439,000	-			
									△138,897	-			
34	1	2	5	定期的な経営状況の点検評価	水道総務課	①当年度未処理欠損金の縮小	①今年度の収益的収支では、約9,000万円の黒字である。	計画どおりできている	未処理欠損金(千円) 630,000	70,000			
									691,000	88,000			
35	2	1	1	審議会のあり方の見直し	秘書広報課	①審議会の現状(審議会数、設置目的、委員構成、開催手法等)について、関係各課に調査する。	①審議会の現状について、関係各課に調査した結果、委員会として廃止されているものや重複しているもの等の把握ができ、今後見直しを進めていくための準備段階としては概ね計画どおりとなっている。(平成24年2月現在委員会数 108)	計画どおりできている	-	-			
									-	-			

第2次伊賀市行政改革大綱 前期実施計画 平成23年度実績一覧表

上段：目標、下段：実績

前期P	重点事項番号	項目番号	取組番号	実施項目名〈各課による取組〉	担当課	H23：年次計画	H23：年次取組実績	進捗状況	数値目標実績	財政効果額(千円)	計画どおりできていない理由	H24年度の改善事項	総務課の意見
36	2	1	1	自力執行権の行使による負担金の削減	収税課	①納税意識の高揚を図るため広報「いが市」や行政チャンネルなどを通じ啓発に努める。 ②公平、厳正な滞納整理及び滞納処分のため積極的な差押を行う。	①納税意識の高揚を図るため広報「いが市」5月号への納税啓発掲載や同時期の行政チャンネルへの出演による啓発等に努めた。 ②公平、厳正な滞納整理及び滞納処分のため積極的な差押（H24.03.16現在）差押件数1,277件、徴収金額151,662千円に努めた。	計画どおりできている	回収機構への負担金(千円)	2,000			
									5,000	4,492			
37	2	1	1	経常経費の削減	収税課	①クレジット収納、モバイル収納等の平成26年度導入に向けて検討を行う。 ②夜間延長窓口の平成26年度からの廃止に向けて各課協議を行う。	①②H22年度導入のコンビニ収納では、徴収金額割約5%、徴収件数割14%の実績を上げることが出来た。引き続き、納税者の利便性を図るべくクレジット収納、モバイル収納等の導入に向けて検討中であるが、H24年度の電算システム更新に伴い、新たにシステムの改修やその改修費が必要となる。	計画どおりできている	コンビニ収納が収納全体に占める割合	-			
									5	6			
38	2	1	1	徴税コストの削減	収税課	①事務費補助金の見直し 補助金の交付ありきの体制から、現に納税貯蓄組合が支出した実費のみの補助金交付へ移行し補助金交付の適正化を図る。 ②連合会活動補助金の廃止 平成24年度分からの活動補助金廃止を検討する。	①納税組合への「事務補助金」適正化強化を図り、H21決算ベースに対しH23年度1,541千円の縮減を図った。 ②平成24年度中に活動補助金を廃止することとなった。	計画どおりできている	納貯組合への事務補助額(千円)	514			
									4,630	3,435			
39	2	1	1	「(仮称)行政関与の基本方針」の策定	企画課	①「(仮称)行政関与の基本指針」の策定	①未策定	計画どおりできていない	事業進捗率	-	市民・地域・行政の関係性や役割分担が安定しないなか、実態と乖離する可能性があるため。	自治基本条例における関係性や役割分担が明確になり次第、策定する。	状況が整い次第、策定されたい。
									100	0			
40	2	1	1	行政バス、廃止代替バス運行における運用見直しと行政の役割の整理	企画課	①行政バスの運行形態(ダイヤ、ルート等)の見直し ②廃止代替バス運行形態(ダイヤ、ルート等)の見直し ③バス交通維持評価基準に基づく評価 ④デマンド運行の検討及び実証実験の実施	①交通計画に基づき、各行政バス毎に課題解決のための対応策に取り組んだ。上野…「しらさぎ号」北ルートの新設等について委託事業者と協議中。伊賀…ルート等運行改善に向けて住民自治協議会代表者を中心とした協議の場を設け協議を開始した。島ヶ原…JR関西本線のダイヤ改正に伴い接続ダイヤを見直した。阿山…阿山地区交通運行協議会を立ち上げ、住民アンケートの実施や運行改善案の検討を行った。大山田…青山行政バスの布引地域乗り入れ等について、ニーズ調査を実施した。青山…伊賀神戸乗り入れについて路線検討、ニーズ調査方法について検討中 ②交通計画に基づき各施策を実施した。友生線…ゆめが丘地区における団地内循環ルート及び市街地内におけるルート変更、バス増設、ダイヤ改正を実施。諏訪線…従来の終点バス停を延伸し、途中区間にバス停を増設 ③交通計画に定めた、バス路線見直し手順に基づく各個別路線を評価した。 ④阿山地区交通運行協議会において実証実験に向けた協議を開始した。	計画どおりできている	準基幹バス(収支率：30%、平均乗車密度：2.5人)	-			
									地域アクセスバス(収支率：10%、平均乗車人数：1人)	準基幹バス(収支率：38%、平均乗車密度：2.0人)			

第2次伊賀市行財政改革大綱 前期実施計画 平成23年度実績一覧表

上段：目標、下段：実績

前期P	重点事項番号	項目番号	取組番号	実施項目名〈各課による取組〉	担当課	H23：年次計画	H23：年次取組実績	進捗状況	数値目標実績	財政効果額(千円)	計画どおりできていない理由	H24年度の改善事項	総務課の意見
41	2	1	1	各担い手センター団体補助金等の見直し	農林振興課	①担い手センターの統一について、伊賀北部農協及びいがまち担い手センターの実行組合長会等と調整協議を行う。	①6月7日に担い手センター統一会議を開催したが、組織の運営方針が異なることから、統一には至らなかった。今後は、伊賀市域農業振興協議会負担金と伊賀広域担い手センター負担金を統一する。	計画どおりできていない	調整会議開催数 6	-	調整会議をするなかで、各団体の根本的な性質と事業内容が違うことが分かったため	伊賀北部広域担い手センターの負担金を、伊賀市域農業振興協議会へ包括することにより、支出額を減らす。	平成24年度中に負担金を統一されたい。
									1	-			
42	2	1	1	伊賀市消防団適正化計画の実施	消防救急課	①欠員のある部・班において支援団員を募集する。 ②適正化計画の集約を行い、25年度からの基本団員・支援団員・ポンプ積載車の配備計画を作成する。	①欠員のある部・班に支援団員9名が入団し33名になった。 ②適正化計画の集約を行い、25年度からの基本団員・支援団員・ポンプ積載車の配備計画を策定した。	計画どおりできている	意見集約した分団の割合 88.88	-			
									100	-			
43	2	1	1	行政評価制度の効果的・積極的な活用	総務課	①評価結果の予算への反映方法を検討 ②第三者評価導入の検討 ③課題に対しての徹底した事務改善	①評価結果の予算への反映方法について、総務課、企画課、財政課と協議を行った。評価結果のデータベース化を行い、3課の情報共有をスムーズにするとともに、事業の必要性の基準について強化し、評価の精度を高める。 ②昨年度に引き続き行政評価システム検討委員会で第三者評価のメリット、デメリットの検証を行った結果、当分の間、内部評価を充実させることとなった。 ③前年度設定した改善策への取組状況をシートに記入し、PDCAサイクル確立の観点からヒアリングを行った。	計画どおりできている	課題の改善率 100	-			
									85	-			
44	2	1	1	権限移譲の推進	総務課	①他市の権限移譲の事例について、伊賀市での導入の可否を検討 ②県が示した移譲事務について、担当課に意向を確認する。 ③移譲を希望する事務に係る県と担当課との協議の場を必要に応じて調整する。	①②③平成24年1月23日に改定された「三重県権限移譲推進方針」で定める「包括的権限移譲パッケージ」について、県内他市から情報収集を行うとともに、各課に周知し、課題や現状についてヒアリングを実施した。来年度も引き続き、担当課に意向等を確認していく。	計画どおりできている	-	-			
									-	-			
45	2	2	1	民間委託の推進	総務課	①予算編成時期にあわせてガイドラインの周知を行う。	①平成24年度予算編成について所管課が連絡をした際に、民間活用ガイドラインの考え方で外部委託ができる業務を勘案しながら予算編成を行うよう全庁的に発信した。	計画どおりできている	ガイドライン周知回数 1	-			
									1	-			

第2次伊賀市行財政改革大綱 前期実施計画 平成23年度実績一覧表

上段：目標、下段：実績

前期P	重点項目番号	項目番号	取組番号	実施項目名〈各課による取組〉	担当課	H23：年次計画	H23：年次取組実績	進捗状況	数値目標実績	財政効果額(千円)	計画どおりできていない理由	H24年度の改善事項	総務課の意見
46	2	2	1	市直営し尿収集業務の民間委託または計画的な収集許可による収集範囲の削減	浄化センター	①合特法に係る関係部署の連携 ②直営収集の削減地域の選定	①3月19日、し尿収集許可3業者、清掃事業課、下水道課、浄化センターの関係者会議を開催 ②伊賀市直営し尿収集・処理業務体制等検討委員会を3回開催し、直営収集の削減地域を選定	計画どおりできている	検討委員会開催回数 4	-			
									3	-			
47	2	2	1	養護老人ホーム「恒風寮」の民営化の検討	介護高齢福祉課	①民営化に向けた利用者（保護者）への説明及び意識調査の実施 ②指定管理者制度から民営化に向けた協議・検討を行う。	①10月4日（火）民営化に向けた施設入所者への説明会、10月8日（土）入所者家族への説明会を実施した。※両説明会は指定管理者である社会福祉法人が主催 ②民営化に向けた指定管理者との会議を計7回開催し、諸手続きの確認やスケジュール調整を行った。	計画どおりできている	事業進捗率 40	-			
									40	-			
48	2	2	1	指定管理者制度運用マニュアルの公表	総務課	①新しいマニュアルを作成する。 ②マニュアルを庁内に周知する。 ③新しいマニュアルで制度運用を行う。 ④モニタリング結果を公表する。	①4月にマニュアルを作成した。 ②4月26日にマニュアルの内容について説明会を開催した。 ③モニタリングの運用などについて改めて通知を行い、マニュアルの内容について周知した。 ④23年度決算確定後に所管課に照会し、結果を取りまとめホームページで公表する予定である。	計画どおりできている	モニタリング結果公表回数 1	-			
									1	-			
49	2	3	1	施設配置の改善	管財課	①新庁舎建設計画において窓口サービス検討部会を設置 ②市民を交えたワークショップの開催	①庁舎建設庁内検討委員会に窓口機能ワーキング部会を設置し、市役所窓口機能の検討会議を4回開催した。 ②2月5日に市民との協働検討会を開催し、市役所の窓口機能に関して32件の意見や提案を得た。	計画どおりできている	-	-			
									-	-			
50	2	3	1	ふくし総合相談支援窓口体制の構築	介護高齢福祉課	①事務分掌の整理 ②既存の縦割り組織や現状課題の洗い出し ③相談体制、情報発信・収集方法などの検討 ④分野を越えた相談支援に対応するための体制の検討	①総合相談窓口としてどのような機能が必要かを整理するため、健康福祉部関係課の事務分掌の洗い出しを行った。 ②現状と課題を抽出するため、健康福祉部内で7回の検討を行った。 ③総合相談支援業務を全面委託している半田市、行政直営で実施している富士宮市を視察し、伊賀市の現状にあった支援体制を検討した。 ④地域包括支援センター、障がい者相談支援センター、こども発達支援センターを中心とした組織イメージを関係課で共有することができた。	計画どおりできている	検討会開催回数 6	-			
									7	-			

第2次伊賀市行財政改革大綱 前期実施計画 平成23年度実績一覧表

上段：目標、下段：実績

前期P	重点事項番号	項目番号	取組番号	実施項目名〈各課による取組〉	担当課	H23：年次計画	H23：年次取組実績	進捗状況	数値目標実績	財政効果額(千円)	計画どおりできていない理由	H24年度の改善事項	総務課の意見
51	2	3	1	窓口対応の充実	管財課	①窓口サービスの検討部会の設置し、窓口取扱時間の延長等を検討する。 ②開庁時間延長に合わせた庁舎管理の改善検討を行う。 ③市民を交えたワークショップの開催	①庁舎建設庁内検討委員会に設置した窓口機能ワーキング部会において、休日窓口の開設についての課題等を検討した。 ②庁舎建設庁内検討委員会に設置した執務機能・施設管理ワーキング部会において検討している。事務所部分にセキュリティアインを設けることで対応が可能 ③2月5日に市民との協働検討会を開催し、参加者から意見・提案をいただいた。	計画どおりできている	検討部会開催回数 4	-			
									10	-			
52	2	3	1	窓口対応の充実	上野図書館	①毎年の図書館年間利用統計（入館利用者数・図書利用登録者数・貸出利用冊数等）を基に、次年度目標を設定し、利用の促進に取り組む。 ②学校等への団体貸出の促進に取り組む。 ③図書館・公民館図書室間の図書配送システムに取り組む。	①6月に年間利用状況統計（図書館要覧）を作成した。24年度目標を設定し、利用促進に取り組んだ。 ②4月に校（園）長会議で説明を行い、案内書を配布し団体登録を呼びかけた。（8団体が登録） ③9月から試行11月から本格実施で、1館3室によるシステムを活用した配送サービスを実施した。	計画どおりできている	貸出冊数 227,000	-			
									236,438	-			
53	2	3	1	行政手続基準の管理	総務課	①法令に基づく申請と不利益処分基準の公表を行う。 ②条例に基づく申請と不利益処分基準の設定を行うための説明会や各所管課への事務対応依頼を行う。	①法令と条例に基づく基準の公表を、平成24年度からシステムを構築して一括で行う。 ②10月21日に事務説明会を開催し作業要領の説明を行った。	計画どおりできている	基準の公表 1	-			
									1	-			
54	2	3	1	案内表示の改善	管財課	①新庁舎建設計画において設置する窓口サービス検討部会にて検討する。	①庁舎建設庁内検討委員会に設置した窓口機能ワーキング部会において、4回の検討会議を開催した。 また、同じくUDワーキングにおいても分かりやすい案内表示について検討を進めている。 庁舎建設に伴う市民との協働検討会や市内の障がい者福祉連盟との意見交換での意見・提案を踏まえ、案内表示のあり方を検討している。	計画どおりできている	検討部会開催回数 4	-			
									6	-			
55	3	1	1	目標管理制度における評価の活用	人事課	①人事考課システムへの位置付け方法、処遇への反映方法等の検討会の開催	①2月10日検討会を開催し、一定の方向性の検討を行ったものの、人事考課制度の本格的運用に至るまでは、いくつかの問題点を克服する必要がある。	計画どおりできている	検討会開催回数 随時	-			
									1	-			

第2次伊賀市行財政改革大綱 前期実施計画 平成23年度実績一覧表

上段：目標、下段：実績

前期P	重点項目番号	項目番号	取組番号	実施項目名〈各課による取組〉	担当課	H23：年次計画	H23：年次取組実績	進捗状況	数値目標実績	財政効果額(千円)	計画どおりできていない理由	H24年度の改善事項	総務課の意見
56	3	1	1	目標管理制度における面談の活用	人事課	①面談記録、準備シートの記入例の作成 ②面談記録、準備シートの提出要請	①面談記録／面談準備シートの記入例を作成し積極的に活用するよう通知を行った。 ②面談記録／面談準備シートについて、9月の中間評価時、3月の期末評価時に提出要請を行った。	計画どおりできている	面談実施回数 2	-			
									2	-			
57	3	1	2	職場内研修(OJT)の推進	人事課	①ガイドライン策定のための検討会開催	①ガイドライン策定のための検討会を9月26日、1月10日に行い、24年度のスケジュール及び推進体制や実践方法等の大枠の検討を行った。	計画どおりできている	検討会開催回数 2	-			
									2	-			
58	3	1	2	複線型人事方針策定のための検証	人事課	①他市の動向把握 ②問題点の整理 ③方針策定の必要性の検討	①三重県下14市で導入している市はない。また全国的に見ても制度を確立しシステム化している自治体は少ない。 ②ライン職及びスタッフ職の明確な区分、処遇の設定、長期的なキャリアイメージの例示等を行っていく必要がある。 ③時代とともに職員の仕事や役職等に対する意識も多様化してきている中で、高度の専門的知識を持つ職員の育成や管理職への登用を希望しない職員が意欲を持って働ける環境づくりも必要とされており、再任用の活用を含めた複線型人事方針を策定していく必要は必然であるという検証結果となった。	計画どおりできている	検証会実施回数 2	-			
									1	-			
59	3	1	2	研修効果の測定	人事課	24年度から							
60	3	1	2	昇格試験の検討	人事課	25年度から							

第2次伊賀市行財政改革大綱 前期実施計画 平成23年度実績一覧表

上段：目標、下段：実績

前期P	重点事項番号	項目番号	取組番号	実施項目名〈各課による取組〉	担当課	H23：年次計画	H23：年次取組実績	進捗状況	数値目標実績	財政効果額(千円)	計画どおりできていない理由	H24年度の改善事項	総務課の意見
61	3	1	2	人事考課制度の整備	人事課	24年度から							
62	3	1	2	職員採用にかかるホームページの活用	人事課	①掲載する採用情報の工夫のための検討会実施	①6月27日、採用情報の工夫のための検討会を実施し、給与・福利厚生に掲載、申込状況、試験実施状況(合格者数等)の掲載を随時行った。	計画どおりできている	検討会開催回数 1	-			
									1	-			
63	3	1	2	時代に見合った職種の採用	人事課	①必要な職種の把握 ②専門性の高い職種の採用	①6月7日、全庁に向けて「公務職場において確保し難い資格等及び一定の経験を有することが市の行政運営に有効であると考えられる職種」についての調査を実施した。 ②各所属から、上記①の必要な職種が複数挙げられた。現在、定員適正化計画に基づき職員数を削減する中で、全ての職種を採用するのは困難であるが、本年4月1日採用者として行政職では一級建築士資格者、社会福祉士資格者をそれぞれ1名の採用を行った。	計画どおりできている	採用・交流人数	-			
									2	-			
64	3	1	2	公募による職員プロジェクトチームの活用	人事課	①過去のプロジェクトチームの成果の確認 ②問題点の整理 ③活用の可否の検討	①過去のプロジェクトチームの成果を確認した。 ②【メリット】チーム構成員を通じて重点施策の周知に繋がった。【デメリット】本来業務に忙殺される中で、他課の仕事(お手伝い)という認識しか持ってもらえずチーム構成員としての主体性が得られない中で、チームとして機能しない。 ③現状の事務執行体制では効果的なプロジェクトチームの運営はできない。また、本事項の取組による効果として掲げている「市の根幹的な政策課題に携わることで、職員の意識・意欲の向上を図る」ことについては、別途人事異動における「重点施策の庁内公募制度」により希望を募っているので、そちらを充実・活用していくこととしたい。	計画どおりできている	検証会実施回数 2	-			
									1	-			
65	3	1	2	分限制度の活用	人事課	①国、他市の規程等を収集し、伊賀市の運用方針を検討する。	①現在、伊賀市で設けられている分限処分の指針等を再検証したところ、 (1)休職の期間についての詳細な定めがない。⇒期間の通算の詳細な基準を設ける。 (2)勤務実績が良くない場合や必要な適格性を欠く場合については、人事院の指針に準拠することとしているが、その指針が廃止されている。⇒基本的には指針の廃止とともに人事院の発した「分限処分に当たっての留意点等」に準拠することとし、上記(1)と合わせた新たな分限処分の指針を整備する。 上記により増加する心身の故障者等に対して、今後一層の厳正な人事管理を図るため、平成24年度に現在の伊賀市の指針を見直し・整備を行う。	計画どおりできている	検討会開催回数 随時	-			
1	-												

第2次伊賀市行財政改革大綱 前期実施計画 平成23年度実績一覧表

上段：目標、下段：実績

前期P	重点事項番号	項目番号	取組番号	実施項目名〈各課による取組〉	担当課	H23：年次計画	H23：年次取組実績	進捗状況	数値目標実績	財政効果額(千円)	計画どおりできていない理由	H24年度の改善事項	総務課の意見
66	3	2	1	定員の適正化	人事課	①定員適正化計画に基づく職員採用を行い職員数の削減を行う。	①前期実施計画の策定段階では、24名（定年14名、勤奨10名）の退職予定者に対し6名の採用を見込んでいたが、退職者28名（定年14名、勤奨6名、死亡2名、依願4名、再任用満了2名）のうち、退職者に対して同数の採用者数とすることとしている保育士の職種で4名の退職となったことから、結果として9名の採用となった。	計画どおりできている	新規採用人数	-			
									6	-			
67	3	2	1	事務事業に合わせた人員の配置	人事課	①人事異動ヒアリング時にヒアリング調書による詳細な聴取り	①1月24日～2月8日にかけて、各部の部長級職員に対し、各課の調書を提出させ詳細なヒアリングを実施した。	計画どおりできている	ヒアリング回数	-			
									1	-			
68	3	3	1	行政組織の見直し	総務課	25年度から							
69	3	3	2	職員提案制度等の充実	企画課	①職員提案の募集 ②審査会による審査 ③関係課による実施検討 ④一課一改善制度の導入	①5月23日～7月23日で募集を行い、22件の応募があった。 ②9月29日に伊賀市職員提案審査会による審査を行った。 ③実施検討の結果となった3件を関係課へ、実施可否の検討を依頼した。 ④制度化し、5月20日に全所属へ実施予定報告書及び実績報告書の作成を依頼し報告を受けた。	計画どおりできている	提案件数	-			
									20	-			
70	3	3	2	権限と責任の移譲	人事課	25年度から							

第2次伊賀市行財政改革大綱 前期実施計画 平成23年度実績一覧表

上段：目標、下段：実績

前期P	重点事項番号	項目番号	取組番号	実施項目名〈各課による取組〉	担当課	H23：年次計画	H23：年次取組実績	進捗状況	数値目標実績	財政効果額(千円)	計画どおりできていない理由	H24年度の改善事項	総務課の意見
71	3	3	2	良好な職場環境づくり	人事課	24年度から							
72	3	3	2	業務マニュアルと年間スケジュール等の情報共有	人事課	①全庁共通の事務引継書式の作成 ②各所属の年間スケジュールの掲載 ③「伊賀市職員必携」フォルダの作成	①全庁共通の事務引継書式を作成し、その活用について、人事異動内示日である3月26日に全庁通知を行った。 ②③年度内に完成できなかったが、現在、グループウェアへの掲載について最終調整中であり、間もなく各所属に対して掲載依頼を行う予定である。	計画どおりできている	実施回数 1 1	- -			
73	3	3	3	公益通報制度の周知	総務課	①研修会開催	①10月24日に制度研修会を開催した。今年度は企画総務部、人権生活環境部、健康福祉部、産業建設部の各所属を対象とし、出席者は31人であった。	計画どおりできている	研修会開催回数 1 1	- -			
74	3	3	3	会計事務に関する知識の向上	出納室	①会計事務マニュアル(手引き)の周知 ②研修に関する関係課との調整 ③グループウェアによる情報提供	①会計事務担当者研修を実施し、会計規則の熟知と会計事務マニュアル(手引き)の活用を指導した。1回 ②組織内で課題の抽出や研修テーマを検討した。延べ5回 ③グループウェアによる情報提供を行った。財務通信3回	計画どおりできている	各課への情報提供回数 4 4	- -			
75	3	3	3	災害対策本部各班運用マニュアルの作成	総合危機管理室	①危機管理運用マニュアル作成に関し、各部署と協議を実施する。 ②各部署危機管理運用マニュアル作成	①災害対策本部各班運用マニュアル作成に関し、各部署と協議を実施し3月16日期限で提出を受けた。 ②各部署から提出されたマニュアル案より、災害対策本部各班運用マニュアルを作成した。	計画どおりできている	事業進捗率 100 100	- -			

第2次伊賀市行財政改革大綱 前期実施計画 平成23年度実績一覧表

上段：目標、下段：実績

前期P	重点事項番号	項目番号	取組番号	実施項目名〈各課による取組〉	担当課	H23：年次計画	H23：年次取組実績	進捗状況	数値目標実績	財政効果額(千円)	計画どおりできていない理由	H24年度の改善事項	総務課の意見
76	3	3	3	水道部危機管理マニュアルの見直し	水道総務課	①東日本大震災への対応例や各種基準の見直し等の資料収集	①資料の収集には時間が掛かるため、計画を前倒し、現行の危機管理マニュアルを点検し、抽象的な表現を避け、発災時に職員がどのような行動をとればよいかを個々に確認できるよう修正を行った。	計画どおりできている	-	-			
77	4	1	1	「市政に関する情報を市民と共有するための指針」の運用	秘書広報課	①「市政に関する情報を市民と共有するための指針」の研修実施 ②情報共有すべき情報等の洗い出しの照会 ③広報紙・行政情報番組等で市民に周知	①4月に希望職員を対象に情報共有指針について庶務担当者研修会を実施した。 ②情報共有すべき情報を各課に随時HPに掲載してもらったため、3月に各課に対して洗い出しの照会を行った。 ③今後、広報紙・行政情報番組等で市民に周知していく。	計画どおりできている	研修会開催回数 1	-			
78	4	1	1	情報公開制度・個人情報保護実務研修の充実 個人情報取扱いの徹底	秘書広報課	①情報公開制度・個人情報実務研修を年度の早いうちに1回開催(対象者：受講希望職員) ②管理職研修の開催 ③各課の個人情報の取り扱いについて、新規・変更・廃止がある場合の個人情報取扱事務届出書の報告を徹底する。	①4月に希望職員を対象に情報公開・個人情報保護制度について庶務担当者研修会を実施した。 ②3月に室長級以上の職員を対象に情報公開制度について研修会を開催した。 ③4月にメールにより各課に周知し、対象案件の報告があった。	計画どおりできている	受講人数 50	-			
79	4	1	1	広報リーダーの設置及び活用	秘書広報課	①広報リーダー及びサブリーダーの設置検討(業務内容等)	①広報いが市の取扱事務に加えて、行政情報番組、文字放送情報収集・提供事務、そして市ホームページの各課所管の情報収集・発信事務に係る業務内容について検討を行った。	計画どおりできている	-	-			
80	4	1	1	「参声広場」の活用	秘書広報課	①「参声広場」の検索機能(よくある質問)について利用状況の把握の実施	①「参声広場」のアクセス状況の把握や、よくある質問の整理に努めた。 アクセス件数 103,426件 回答件数 123件 よくある質問(FAQ)登録件数 52件	計画どおりできている	-	-			

第2次伊賀市行政財政改革大綱 前期実施計画 平成23年度実績一覧表

上段：目標、下段：実績

前期P	重点事項番号	項目番号	取組番号	実施項目名〈各課による取組〉	担当課	H23：年次計画	H23：年次取組実績	進捗状況	数値目標実績	財政効果額(千円)	計画どおりできていない理由	H24年度の改善事項	総務課の意見
81	4	2	1	行政評価への市民意識の反映	総務課	①市民の満足度(必要度)の把握と反映方法の検討 ②評価結果の公開方法の検討	①企画課実施の伊賀市まちづくりアンケート結果から、各施策に対する満足度を把握した。今後、基本施策評価にその結果を反映し、事業の重点化を行っていく。 ②評価結果の公開について、見出しの文字を大きくし、カテゴリ別に色分けをするなど、レイアウトや掲載内容を見直した。	計画どおりできている	HPアクセス数 9,000	-			
									15,165	-			
82	4	2	2	広報紙のわかりやすい紙面づくり	秘書広報課	①広報編集指針の策定 ②広報編集指針を庁内へ周知する。 ③広報編集指針に基づく、市民に親しまれる紙面づくり	①「広報編集指針」を7月に策定した。 ②「広報編集指針」を8月に庁内へメールにより周知した。 ③「広報編集指針」に基づき、広報紙を作成した。	計画どおりできている	-	-			
									-	-			
83	4	2	2	ホームページの充実	秘書広報課	①ホームページ(トップページ)の改修	①10月に市ホームページのトップページを改修した。また各担当課のページの新規作成・修正および廃棄につき、月1度秘書広報課への報告を義務づけた。	計画どおりできている	-	-			
									-	-			
84	4	2	2	行政情報チャンネル「ウィークリー伊賀市」の充実	秘書広報課	①市が行っている重要な政策や事業等について具体的に説明する「特集コーナー」を活用し、情報提供する。 ②行政番組検討委員会を開催し、市民の視点からの改善を検討する。 ③市民からの質問や意見に対して行政情報番組で回答する「市民なっ得コーナー」について、利用の増大を図るため番組を通じて啓発する。	①市が行っている重要な政策や事業について、毎週1回「特集コーナー」を活用し情報提供した。 ②8月と2月に行政情報番組検討委員会を開催し、特集番組の市担当者は可能な限りカメラ(市民)に向かって説明することなどの意見をいただき、改善に努めた。 ③「市民なっ得コーナー」を番組を通じて周知し、2件の質問をいただき、そのことについて、番組内で回答をした。	計画どおりできている	市民なっ得コーナー問合せ件数 5	-			
									2	-			
85	4	2	2	情報公開制度の適正な運用	秘書広報課	①市の諸活動を市民に説明し、公正な市政の推進を図るための情報公開制度について、職員研修を開催して適正な運用と利便性の向上に努める。 ②出資法人に対し、適正な情報公開が図られるよう指導・助言を行う。	①4月に希望職員を対象に情報公開制度について庶務担当者研修を実施した。 ②1出資法人に対し、情報公開要綱の作成について指導し、12月に作成に至った。	計画どおりできている	-	-			
									-	-			

第2次伊賀市行財政改革大綱 前期実施計画 平成23年度実績一覧表

上段：目標、下段：実績

前期P	重点事項番号	項目番号	取組番号	実施項目名〈各課による取組〉	担当課	H23：年次計画	H23：年次取組実績	進捗状況	数値目標実績	財政効果額(千円)	計画どおりできていない理由	H24年度の改善事項	総務課の意見	
86	5	1	1	市民と行政の役割分担の見直し	企画課	①協働の基本原則（ルール）づくりを行う。 ②庁内検討委員会の設置 ③市民等からの意見聴取機会の創出	①未策定 ②未設置 ③未創出	計画どおりできていない	事業進捗率	100	-	平成23年度から自治組織のあり方が見直されたが、市民、地域、行政の関係性や役割分担が現状では安定していないため、実態と乖離する可能性がある。	自治基本条例における関係性や役割分担が明確になり次第、策定する。	状況が整い次第、策定されたい。
										0				
87	5	1	1	市民活動支援センター充実	市民活動推進室	①人材育成（中間支援担当者ネットワーク交流会や市民活動（支援）センター情報交換会等への参加） ②ファシリテーション・コーディネート等の研修 ③組織運営（会計・税務・労務等）の研修	①中間支援担当者ネットワーク交流会（3回）及び市民活動支援センター情報交流会（2回）に参加した。 ②ファシリテーション研修会として2日間の連続講座を2回実施した。 ③組織運営に必要な、税務研修を2回、会計研修を1回、コミュニティビジネス研修会を1回実施した。	計画どおりできている	研修会開催回数	5	-			
										6				
88	5	1	1	市民公益活動への財政支援・住民自治協議会への財政支援	市民活動推進室	①（現）地域活動支援事業の実施 ②H22の成果報告会の実施 ③（現）地域活動支援事業の見直し（協働や賞（アワード）の視点、審査方法などについて見直しを検討する。） ④H24の（仮）新地域活動支援事業の募集	①地域活動支援事業を市民公益活動団体5団体と自治協議会4団体で実施した。 ②6月18日に平成22年度地域活動支援事業成果報告会を実施した。 ③④地域活動支援事業の手法及び補助金の見直しについて、検討に入っているが、H24年度については現制度で募集する。	計画どおりできていない	応募件数	15	-	本年度中の事業見直し、平成24年度に至り、新制度の運用が平成25年度からなるため	引き続き検討を行う。	平成25年度から新制度で実施できるよう引き続き調整されたい。
										12				
89	5	1	1	自治組織のあり方の見直し（1）	市民活動推進室	①平成23年度にまちづくりに関する基本協定の締結 ②地域が選択する行政業務メニューの検討と提示	①設立された自治協議会38団体とまちづくりに関する基本協定を締結した。 ②地域包括交付金を導入した。さらに地域で取組が可能な行政業務メニューの検討を行った。	計画どおりできている	協定締結数	38	-			
										38				
90	5	1	2	自治組織のあり方の見直し（2）	市民活動推進室	①地域担当職員の配置及び住民自治協議会支援 ②行政横断体制の検討	①自治協議会担当職員を9名配置し、各住民自治協議会の運営支援を行った。 ②行政組織の横断的な協力・連絡体制について検討し、（仮称）住民自治推進連絡調整会議を設置することとなった。	計画どおりできている	市に対する提案数	5	-			
										0				

第2次伊賀市行財政改革大綱 前期実施計画 平成23年度実績一覧表

上段：目標、下段：実績

前期P	重点事項番号	項目番号	取組番号	実施項目名〈各課による取組〉	担当課	H23：年次計画	H23：年次取組実績	進捗状況	数値目標実績	財政効果額(千円)	計画どおりできていない理由	H24年度の改善事項	総務課の意見
91	5	1	2	総合計画における協働型マネジメントサイクルの構築	企画課	①伊賀市まちづくり委員会を設置し、後期基本計画の目標値を設定 ②まちづくりアンケートの結果を評価する。	①伊賀市まちづくり委員会を設置し、7回の委員会を経て、後期基本計画68基本施策の目標値の報告を受け、目標値を設定した。 ②平成22年度まちづくりアンケート報告書を作成した。	計画どおりできている	アンケート回収率	-			
									55	-			
92	5	2	1	職員の意識啓発と人権問題地区別懇談会等への積極的な参加	人権政策・男女共同参画課	①人権大学・解法大学修了生を中心に、職員同和問題啓発推進委員等の中から、自主的に「人権問題を考える職員ネットワーク(仮称)」の趣旨に賛同する職員を募り、意見交換会を行う。 ②「人権問題を考える職員ネットワーク(仮称)」を設立する。	①人権大学・解法大学受講生との意見交換会を行った(9月)。また、全修了生(退職者を除く)に対し、定期的にメールマガジンの季刊紙を送付し(7・11・3月)、人権啓発のリーダーとしての自覚を促した。 ②ネットワークの設立について、平成24年度から発効する「第2次人権施策総合計画」の中に、新事業として盛り込んだ。	計画どおりできている	人権・解法大学修了生であり、ネットワークに賛同する職員/全職員(%)	300			
									3.1	0			
93	5	2	1	市政モニター制度導入の検討	秘書広報課	①市政モニター制度導入の検討 ・他市の事例調査 ・モニターの人員 ・集約する意見の内容等	①モニターの人数・アンケート内容について、三重県や他市の事例を調査し、モニター人員の選出方法や集約する意見の内容について検討した。	計画どおりできている	-	-			
									-	-			
94	5	2	1	市民が参加しやすい審議会の見直し	秘書広報課	①市民参画の拡大を図るために人数や委員構成について検討する。 ②審議会の開催日や開催時間等について市民ニーズにあった運営を進めるよう検討する。	①②審議会の現状について、関係各課に調査した結果、委員会として廃止されているものや重複しているもの等の把握ができ、今後見直しを進めていくための準備段階としては概ね計画どおりとなっている。	計画どおりできている	-	-			
									-	-			
95	5	2	1	女性リーダーの育成	人権政策・男女共同参画課	①女性リーダー育成に関する事業の企画・開催	①女性リーダー養成連続講座(計8回)を開催した。22人の受講生が修了した。	計画どおりできている	研修受講者数	-			
									20	-			
									22	-			

第2次伊賀市行財政改革大綱 前期実施計画 平成23年度実績一覧表

上段：目標、下段：実績

前期P	重点事項番号	項目番号	取組番号	実施項目名〈各課による取組〉	担当課	H23：年次計画	H23：年次取組実績	進捗状況	数値目標実績	財政効果額(千円)	計画どおりできていない理由	H24年度の改善事項	総務課の意見
96	5	2	1	審議会等への女性登用の推進	人権政策・男女共同参画課	①平成22年度審議会等の女性登用率実績を踏まえて、評価する。	①7月に伊賀市男女共同参画人材バンクを設置し、26人を登録した。 女性登用率40%未満の審議会等の担当課に「審議会等の女性選任状況調査票」を提出してもらい、その理由を調査した。	計画どおりできている	審議会等の女性の登用率	-			
									30.4	-			
97	5	2	1	庁内会議の開催手法	企画課	①会議のあり方について検討 ②運営方法の見直し ③関係要綱の改正 ④職員への周知	①会議内容を再点検した結果、次年度も同様の形態とする。 ②政策調整会議を平成24年度から月1回を月2回へ変更（議会開催月を除く）し、市民との情報共有との観点から会議内容の一部を公開する。 ③庁議設置及び運営規程を一部改正した。 ④平成24年度第1回政策調整会議を経て、全所属へ通知する。	計画どおりできている	会議出席者の平均労働時間数	-			
									2.1	-			